

平成最後の上田高校入学式に参列（4月4日）

関東同窓会会長 上原 昇(65期)

桜前線が北上中の4月4日(木)、上田の桜はこのところの寒気もあってまだ蕾で開花までにもう少しである、恒例の上田城址公園千本桜まつりは4月6日からとのこと。

平成最後の母校入学式に、昨年に引き続き関東同窓会を代表して参列した。

本年度新入生は母校創立120周年を記念する120期生で、全日制8組、320名、定時制24名の計344名である。

一抹の不安そうな表情の中に、夢や希望を胸に目を輝かせているフレッシュマン、フレッシュウーマンを見るのは清々しく気持ち良いものである。

廣田昌彦学校長の式辞、新入生代表(女生徒)の宣誓、全国2万8千人の同窓生を代表して山越雅明同窓会副理事長(76期)の来賓祝辞、鳥海PTA会長のあいさつが続き、在学生代表たちによる校歌斉唱、保護者代表あいさつで式は無事に終了。

1カ月前には卒業式にも出席したが、今日の入学式の生徒たちと比べ、3年または4年という高校生活により身体つき、顔つきで大きく成長した様子が良く分かった。

廣田校長からは古城の門沿いの濠の水が涸れてしまい困っているとの話があった。

濠の浚渫と合わせこれは難題である。

(2019年4月5日記)

【写真1: 入学式の日の古城の門】



【写真 2: 涸れたしまった校門沿いの濠の様子】

